

(3) 参加対象

公民館長、市町村教育委員会社会教育課長等。

(4) 講師・助言者

① 講 師

郡山女子大学短期大学部文化学科教授

手代木 保

② 助言者

県教育庁県北教育事務所員

福島県公民館連絡協議会役員

(5) 研修内容

① 講 義

「公民館の管理運営と事業活動はどうあるべきか」

郡山女子大学短期大学部文化学科教授

手代木 保

② 研究協議

ア 公民館の管理運営と展望

イ 学社連携と公民館活動

9 視聴覚教育指導者研修会

(1) 趣 旨

地域における中心的な視聴覚教育指導者の養成を図るために、教育に携わっている職員や関係者に対し、視聴覚機材の操作や視聴覚教材の作成など、その効果的な活用について専門的な研修を行う。

(2) 期日、会場、参加者

① 期 日 昭和58年8月25日～8月27日

② 会 場 福島県教育センター

③ 参 加 者 県市町村職員、県市町村教育委員会職員、社会教育指導員、公民館職員、図書館職員、視聴覚センター・ライブラリー職員、その他の社会教育関係施設職員、青少年関係施設職員、各種団体の関係者

(3) 講師、助言者

文教大学講師

柳下貞一

福島大学教育学部教授

島田啓二

映写機製作会社技術者

酒井登

、

VTR製作会社技術者

渡辺要司

県教育センター経営研究部

菊田恒芳

、

県教育庁社会教育課員

山田明

、

植田守

(4) 研修内容

① 講 義

「映画の教育的利用と今後の動向」

「映写機の構造、点検及び操作」

「社会教育における視聴覚教材の機能・役割」

「社会教育における放送利用の企画・評価」

② 講義と実習

「映画フィルムの取り扱いと接合」

「TVカメラとVTRの効果的利用法」

「OHPの特性と利用、OHP教材の作り方」

「フィルムフォーマットのあり方」

③ 研究協議

視聴覚センター・ライブラリーの整備充実と教材利用について」

10 くらしに生かす放送利用研究集会

(1) 趣 旨

複雑に変化する社会の中で、人々は自己の啓発や生活の向上をめざし、豊かな学習機会を求めている。このような状況に対応するため、社会教育における放送利用学習のあり方について研究をすすめ、生涯教育の推進に資する。

(2) 期日、会場、参加者数

方 部	期 日	会 場	参 加 者 数
浜 通 り	6月23日(木)	いわき市文化センター	100
中 通 り	9月13日(火)	福島市市民会館	95
会 津	11月24日(木)	喜多方プラザ文化センター	160

(3) 参加対象

市町村の社会教育関係者、PTA、学級講座・自主学習グループの学習者、放送利用学習に関心のある者など。

(4) 講師、指導者、助言者

① 講 師

3会場 宮城教育大学教授 雪江美久

② 指導員

浜通り集会 元いわき市社会教育指導員

吉田徳治

中通り集会 福島市社会教育指導員 遠藤宮子

会津集会 福島県婦人教育指導員 清水美代子

③ 助 言 者

開催市教育委員会社会教育担当者、自主学習グループ代表者、県教育庁社会教育課員、同教育事務所員

(5) 内 容

① オリエンテーション

「各方部の研究集会のねらいとすすめかたについて」

② 公開学習、研究協議

「魅力ある学習をすすめるために、放送をどう利用したらよいか」について、放送利用研究委託学級による学習活動公開と公開学習をうけての研究協議

③ パネル討議又は講演

「これからの生涯学習と放送の利用について」をテーマとするパネル討議（浜通り集会、中通り集会）又は講演（会津集会）

11 福島県視聴覚ライブラリー研究協議会

(1) 趣 旨

社会の著しい発展にともない視聴覚教育の果たす役割はますます重要性を加えつつあるが、その一層の振興を図るため、当面する諸方策の実践について総合的に研究し、さらに情報の交流をはかり、視聴覚教育の振興に資する。

(2) 期日、会場、参加者

① 期 日 昭和58年11月17日～11月18日

② 会 場 白河地域職業訓練センター

③ 参 加 者 市町村教育委員会社会教育関係職員、公